ドリアス

富山県

No.81 2016 年 10 月

中央植物園だより

第 18 回私の植物写真展入選作品「彼岸花にアゲハ蝶」 撮影 / 関口　衛さん

ヒガンバナ（ヒガンバナ科）

名前のとおり秋の彼岸の頃に咲き、堤防や田畑の法面が花で赤く染まる。ヒガンバナは日本には縄文時代か弥生時代に救荒植物として中国から導入されたという説や海流に運ばれてきたという説がある。

今年の TOYAMA 植物フォーラム

今年の TOYAMA 植物フォーラムはサンライトホールにて開催している「オックスフォード大学交流記念展」に関連して、「英国の園芸文化と植物園」をテーマにオックスフォード大学のベン・ジョーンズ氏のほか、英国の園芸文化に詳しい方を講師に迎えて 10 月 2 日に開催します。また 10 月 15 日には夜間開園し、英国ガーデニングミステリードラマの上映会を行います。詳しくは裏表紙の行事予定をご覧ください。

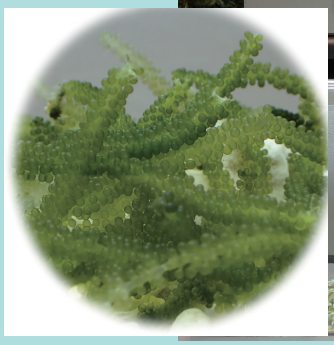
オックスフォード大学植物園

沖縄展「島の恵みー亜熱帯地域の植物資源の活用Ⅰ 開催リポート

7月22日から9月18日まで沖縄展「島の恵みー亜熱帯地域の植物資源とその活用Ⅰ」を開催しました。沖縄に生育する植物を使用した食品、織物、染め物、民具・民芸品などを紹介するとともに、「海ぶどう」やアカゲウリなど一部実物を展示しました。また7月30日・31日には黒砂糖とトロピカルフルーツを使ったアイスクリームの試食会、8月27・28日には芭蕉布や壺屋焼などの販売も行い、盛況のうちに終了しました。来年1月には琉球野菜や果実を中心に第二部「島の恵みー亜熱帯地域の植物資源とその活用Ⅱ」を開催する予定です。

サンライトホール天井から吊り下げた沖縄展のディスプレイ。

伝統着物試着コーナーでは試着して記念写真を撮る風景が見られた。

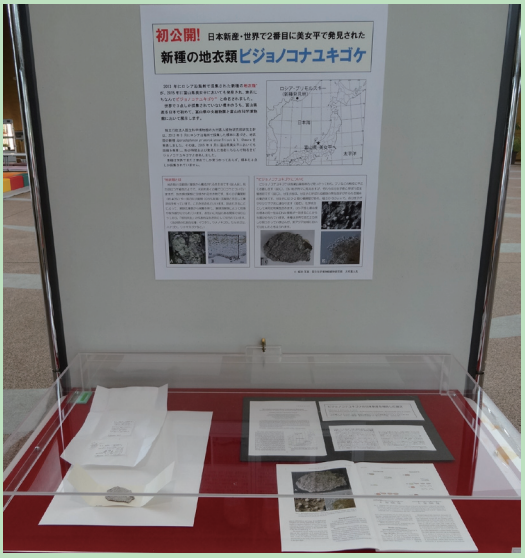


左）沖縄から届けられた海ぶどうを期間中生体展示。
上）沖縄の島ごとの黒砂糖を展示し、試食会では味の違いも体験。

植物園トピックス

富山県で見つかった日本新産の地衣類ビジョノコナユキゴケを展示

2013年にロシア沿海州で採集された新種の地衣類が、2015年に富山県立山町の美女平においても発見され、“ビジョノコナユキゴケ”と命名されました。独立行政法人国立科学博物館植物研究部大村嘉人主幹が採集した標本を国内で初めて展示しました。



北米東部の植物コーナーの紹介

北アメリカ大陸の東部には、大陸西部と太平洋を隔てて１万キロ以上も離れた、東アジアと関連の深い植物群が分布しています。たとえば、シキミ属、ハンゲショウ属、ユリノキ属、モクレン属、ミヤオソウ属、フッキソウ属、マンサク属、ズイナ属、ヌマミズキ属、アメリカタニウツギ属などの植物をあげることができます。このような植物を中心に展示しているのが「北米東部の植物」のエリアです。

世界の植物ゾーンにある北米東部の植物エリア

晩秋に開花するアメリカマンサク

これからの季節、このエリアではアメリカマンサクが見ごろを迎えます。日本のマンサクは早春に咲きますが、アメリカマンサクは 10 月末から 11 月はじめにかけて、葉が黄色に変わって落葉する頃に開花します。

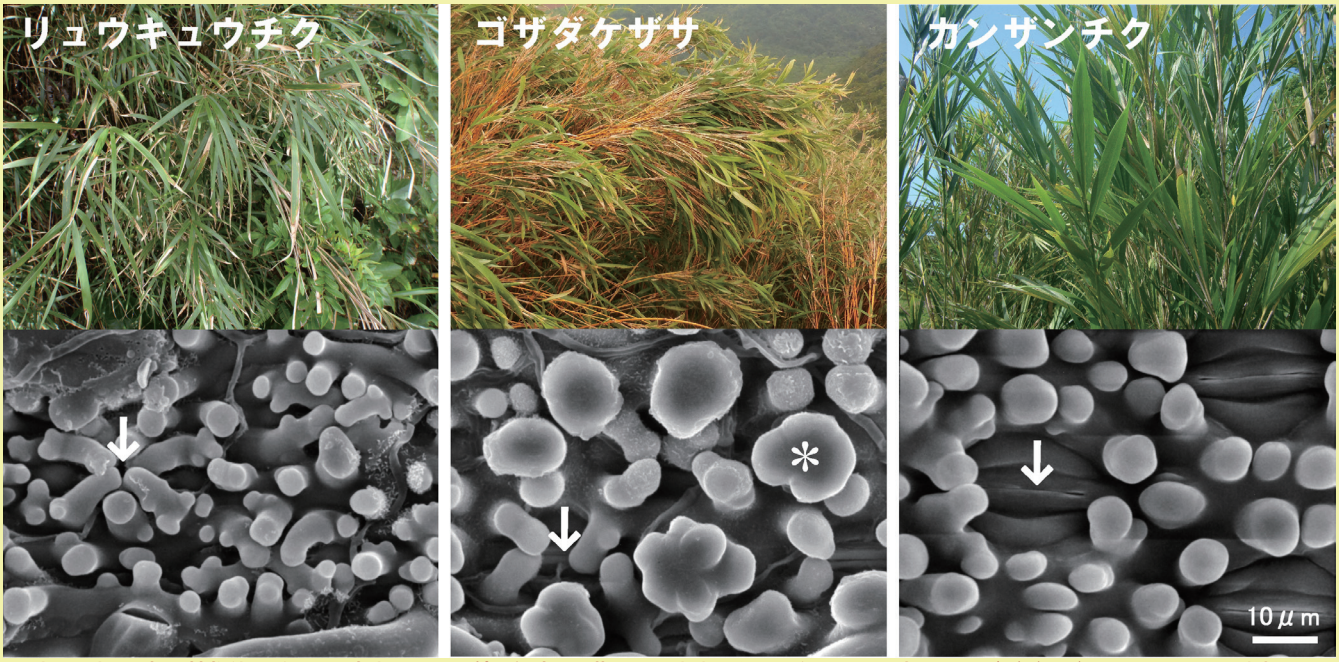
研究紹介◎『リュウキュウチク類の葉の表皮構造』

栽培展示課主任　高橋一臣

この夏、中央植物園では沖縄展を開催しました。沖縄というと亜熱帯のイメージが強いのですが、琉球列島の植物相は、日本本土、中国、東南アジア、オーストラリアなど様々な地域由来の植物が混ざり合った“チャンプルー植物相”なのだそうです。タケの場合はどうでしょうか。琉球列島には、ホウライチクなど熱帯アジア系のタケが導入され、一部で野生化しています。しかし、本来、琉球列島に自生するタケはメダケ属のリュウキュウチクの仲間で、これは温帯の系統に含まれます。

琉球列島には、広くみられるリュウキュウチクのほか、八重山諸島の山地にゴザダケザサが分布します。しかし、これをリュウキュウチクと同種とみなす見解もあります。一方、関東以西で栽培され、中国原産と考えられてきたカンザンチクは、DNA の解析から中国のものとは別系統であることがわかり、リュウキュウチクの一栽培型とも考えられています。

これら 3 種について葉の下面表皮の微細構造を比較したところ、ゴザダケザサでは気孔と気孔の間に太い突起がみられ、カンザンチクでは気孔が周囲の突起にほとんど覆われないなど、リュウキュウチクとは異なる特徴が認められました。この結果は、これら 3 種を独立した分類群と認める見解を支持します。ただし、移行的な特徴を示す個体も存在することから、琉球列島全体から得た標本や、本土で栽培されるもう一つの型であるタイミンチクを含む、より多くの標本を観察する必要があります。



リュウキュウチク類の植物体の様子と、走査電子顕微鏡で観察した葉の下面表皮。矢印は気孔の開口部。＊はゴザダケザサにみられる太い突起。

今年はバオバブがたくさん開花しました。

平成９年（1997 年）に熱帯果樹室に導入したバオバブ Adansonia digitata L.が数年前から開花し、今年は多数（約 20 輪）順次開花しました。バオバブの花は夜（園内では午後７～８時ごろ）に開花します。

バオバブは熱帯中央アフリカのサバンナ原産で、樹高 20 mに達する落葉高木です。乾季に落葉したバオバブの姿は地表から空に向かって根が伸びているように見え、異様な光景を呈しています。バオバブといえば、サン・テクジュベリの『星の王子様』には「大きなバオバブがその根で星を壊す」と少し悪いイメージで書かかれていて、ご存知の方も多いかもしれません。

日本国内では京都府立植物園と富山県中央植物園のバオバブが近年毎年開花しており、花粉を交換して授粉していますが、富山ではまだ結実に至っていません。

8 月 1 日 19 時 30 分ごろに園内で撮影

催し物のご案内

■企画展示　サンライトホール

企画展には入園料が必要です。

オックスフォード大学交流記念展

「英国の園芸文化と植物園」

9 月 22 日（木・祝）～ 10 月 19 日（水）

野鳥と緑の写真展

9 月 30 日（金）～ 10 月 19 日（水）

私の植物写真展

10 月 21 日（金）～ 11 月 16 日（水）

秋の盆栽展

10 月 28 日（金）～ 10 月 30 日（日）

花と緑のコンクール入賞作品展

11 月 1 日（金）～ 11 月 16 日（水）

第 10 回秋のラン展

11 月 18 日（金）～ 20 日（日）

クリスマスフェア

12 月 2 日（金）～ 4 日（日）

干支にちなんだ植物

12 月 9 日（金）～ 1 月 11 日（水）

第 4 回「新春カトレヤ展」

1 月 6 日（金）～ 1 月 9 日（月）

■夜間開園

10 月 15 日（土）18:00 ～ 21:00

英国ガーデニングミステリードラマ「ローズマリー＆タイム」上映会

18:30 ～ 19:30

ビートルズナンバーコンサート

19:45 ～ 20:25

いずれも会場はサンライトホール
入園料（250 円）が必要です。

■講座・講習会

★ TOYAMA 植物フォーラム「英国の園芸文化と植物園」

10 月 2 日（日）13:30 ～ 16:00

場所 / 管理研修棟研修室

パネリスト / ベン ジョーンズ（オックスフォード大学）・カースティ ショウ（BGCI）・老川順子（元英国王立キュー植物園職員）・大原隆明（富山県中央植物園）

★栽培講習会「ランの栽培と管理」　◆要申込

11 月 19 日（土）・20 日（日）
いずれの日も 13:30 ～ 15:00

植物園でバードウォッチング

12 月 4 日（土）
9:00 ～ 11:00
入園料が必要です。

■月例行事

月例行事には入園料が必要です。

植物ガイド

ーボランティアと歩く植物園ー
第 1,2,4 日曜日　13:30 ～ 14:00

ー園長と歩く植物園ー
第 3 日曜日　13:30 ～ 14:00
集合場所／サンライトホール

緑のコンサート

10 月 1 日（土）、11 月 5 日（土）
いずれも 14:00 ～ 15:00

◆要申込　事前の申込が必要です。申込は１ヶ月前から往復はがき、FAX、メール（botanic@bgtym.org）で受付けます。

★印は植物園ボランティアの養成講座です。

富山県中央植物園　入園案内

開園時間　9:00 ～ 17:00（入園は 16:30 まで）
（11 月～ 1 月は 9:00 ～ 16:30、入園は 16:00 まで）

休園日　毎週木曜日
（4 月中と GW、お盆、祝日の場合は開園）
年末年始（12 月 28 日～ 1 月 4 日）

入園料　大人（一般および大学生）500 円
団体料金（20 名以上）　400 円
高校生以下ならびに 70 歳以上通年無料

冬期入園料（12 月～ 2 月）
大人（一般および大学生）300 円
団体料金（20 名以上）　240 円
高校生以下ならびに 70 歳以上通年無料

年間パスポート（購入日より1年間有効）2,000 円

交通案内　JR 富山駅から、富山地鉄バス「ファボーレ経由萩の島循環」または「ファボーレ経由速星行き（休日のみ）」に乗車し「中央植物園口」停留所下車、徒歩約 12 分／富山市中心部より車で約 15 分／北陸自動車道富山インターより車で約 15 分／ JR 速星駅より車で約 8 分

富山県中央植物園だより No.81

編集・発行／富山県中央植物園（指定管理者：公益財団法人　花と緑の銀行）
〒 939-2713　富山市婦中町上轡田 42　TEL 076-466-4187　http://www.bgtym.org/
平成 28 年 9 月 20 日発行　　印刷／中村印刷工業株式会社